

「人を対象とする生命科学・医学系研究についての情報公開文書」

研究課題名：肺区域切除症例の解剖学的因子・臨床病理学的特徴・
予後に関する後方視的解析

・はじめに

肺の切除方法には大きく分類し葉切除・区域切除・部分切除があります。区域切除は、肺癌手術の標準術式である肺葉切除より小さい解剖学的単位である肺区域を切除し肺機能を温存する術式であり（縮小手術）、切除の際に解剖学的な構造物（区域肺動静脈、気管支）を同定する必要があります。同様の縮小手術である部分切除は肺実質を楔状に切除する術式で、解剖学的な構造の同定を必要としません。血管が分岐する様式や病変の位置が個々の症例で異なる事から、区域切除の種類は多彩であり、切除範囲やアプローチ、良性腫瘍、転移性腫瘍から早期肺癌、まで対象疾患も近年多様化しています。

今回、区域切除症例の(1)臨床病理学的特徴、(2)手術の短期・長期成績、(3)解剖学的因子との関連、(4)他の術式との差異、等を後方視的に検討し、区域切除の適応疾患の適正化、手技の洗練や定型化、安全性の向上を目的として、本研究を計画しました。

こうした研究を行う際には、血液、組織、細胞など人のからだの一部で、研究に用いられるもの（「試料」といいます）や診断や治療の経過中に記録された病名、投薬内容、検査結果など人の健康に関する情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、既に保管されているこうした試料や情報の利用についてご説明します。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

1. 研究計画書が倫理審査委員会の承認を取得後、本研究で利用する当施設所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、研究代表機関（群馬大学）へ提供します。当施設及び群馬大学大学院・総合外科学講座・呼吸器外科、信州大学呼吸器外科にて以下の因子についてデータの集積を行います。データは個人情報管理者により匿名化されて厳重に管理されます。得られたデータより、下記の統計解析を行い、(1)臨床病理学的特徴、(2)手術・短期・長期成績、(3)解剖学的因子との関連、(4)他の術式との差異を解析します。

・研究の対象となられる方

2005年1月1日から2029年12月31日の間に香川大学医学部附属病院・呼吸器外科で肺葉切除、区域切除、部分切除を施行した約1000名を対象に致します。対象となることを希望されない方は、相談窓口（連絡先）へご連絡ください。希望されなかった方の情報は、研究には使用しません。未成年も対象となるため、代諾者からの研究参加の申し出を受け付けます。代諾者の選定方針として、研究対象者が未成年者の場合は親権者又は未成年後見人を指します。

・研究期間

研究を行う期間は学部等の長の許可日より2030年3月31日までです。

・研究に用いる試料・情報の項目

臨床・画像情報、病理所見、予後情報について、解析上必要な情報を使用します。具体的にカルテから収集する検査項目は以下の通りです：

【患者背景情報】性別、生年月日、身長、体表面積、performance status（全身状態の指標）、原発巣の占拠部位・組織型、腫瘍に対する治療歴(手術、抗癌剤、放射線治療、理学療法、栄養管理)、既往歴、生活習慣、主な合併症もしくは併存疾患の有無とその内容、最終外来 受診日、検査スケジュール、診療情報提供書、診断書

【手術情報】初診時年齢、切除範囲、リンパ節郭清の有無、血管形成の有無、気管支形成の有無、気管支断端被覆の有無、拡大切除の有無と詳細（胸壁、縦隔胸膜、隣接肺葉、壁側胸膜、横隔膜、心膜、神経、肋骨）、手術時間、出血量、術後合併症、術後ドレーン抜去日、術後在院日数

【病理情報】患側、腫瘍最大径、完全切除の有無、組織型、pTNM分類、pStage、リンパ節転移の局在、郭清個数、転移個数、PL(胸膜浸潤)、D(播種)、E(細胞診)、PM(肺内転移)、v/ly(脈管浸潤)、病理検査報告書、診療上解析されたゲノム情報

【予後情報】周術期死亡の有無（術死(≤30days)、在院死(>30days))、90日以内死亡の有無、転帰(無再発生存、担癌生存、他病死、原病死)、再発の有無(再発・最終無再発確認までの期間)、再発臓器、再発に対する治療の有無 術後補助治療の有無(化学療法の有無、放射線治療の有無、分子標的薬の有無)

【一般診療に伴う検査情報】

- 1) 身体所見:体重、performance status、血圧、体温、呼吸商
- 2) 血液検査:赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット値、白血球数、好中球数、血小板数、赤血球沈降速度、血液ガス分析
- 3) 生化学・凝固検査:総蛋白、アルブミン、尿素窒素、尿酸、クレアチン、アンモニア、ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、マグネシウム、リン、銅、亜鉛、鉄、血糖、ヘモグロビン A1C、乳酸、中性脂肪、コレステロール、アミラーゼ、総ビリルビン、アスパラギン酸トランスフェラーゼ、アラニンアミノトランスフェラーゼ、γグルタミントランスフェラーゼ、血清クレアチニン、クレアチニンクリアランス(実測値もしくは推定値)、アルカリフォスファターゼ、乳酸脱水素酵素、コリンエステラーゼ、インスリン、CRP、チモール混濁反応、内分泌ホルモン(視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎・膵臓・精巣・卵巣ホルモン)、硫酸亜鉛混濁反応、感染症検査、KL-6、SP-D、SP-A、D-dimer、FDP、フィブリノーゲン、PT、APTT、腫瘍マーカー(CEA, SCC, CYFRA, ProGRP, CA19-9, NSE)
- 4) 尿検査:尿量、比重、pH、尿蛋白、尿糖、ケトン体、尿沈渣、ビリルビン
- 5) 画像検査:造影+単純 CT(3DCT)検査、造影+単純 MRI、PET-CT、X線検査、内視鏡検査
- 6) 生理機能検査:心電図、心エコー、呼吸機能

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また、本研究により対象者となった患者さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来研究成果は区域切除の適応疾患の適正化、手技の洗練や定型化、安全性の向上の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性があると考えています。対象となった患者さんに対する経済的負担又は謝礼はありません。

・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は含まれません。

・試料・情報の保管及び廃棄

研究のために集めた情報は、群馬大学医学部附属病院および当院の管理責任

者が責任をもって保管し、少なくとも本研究の終了について報告された日から10年を経過した日又は 本研究の結果の最終の公表について報告された日から10年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存し、保存期間が終了した後には個人を識別できる情報を取り除いた上で廃棄いたします。研究終了後も、発表した成果の確認や追加の解析の必要性が生じた場合等に対応するため、情報等は保存する必要があります。さらに、これらの情報は貴重な研究資源として、国民の健康増進を目指す様々な研究において高い利用価値を持ちます。そのため、本研究終了後も提供された情報は引き続き保存され、さらに将来、本研究と同様の目的を持つ研究が行われる際には、適切な手続き・審査を経て利用します。不同意の申し出などで情報の廃棄が必要となった場合は、破棄します。

研究代表機関の管理責任者：矢澤友弘

当院の管理責任者：矢島俊樹

・研究成果の帰属について

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・研究資金について

本研究は群馬大学大学院・総合外科学講座の研究費をもって充てます。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われないのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

・研究組織について

この研究は群馬大学大学院・外科診療センター・呼吸器外科グループが主体となり、信州大学・香川大学と共同して行っています。この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究代表者

所属・職名：医学部附属病院外科診療センター呼吸器外科・助教

氏名:永島宗晃

連絡先:027-220-8224

研究責任者

所属・職名：信州大学・呼吸器外科・教授

氏名：清水公裕

連絡先：0263-37-3576

研究責任者

所属・職名：香川大学・呼吸器外科・教授

氏名：矢島俊樹

連絡先：087-891-2191

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

【当院の相談窓口（連絡先）】

所属 : 香川大学医学部附属病院 呼吸器外科

連絡先 : 〒761-0793

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

Tel : 087-891-2191

担当 : 矢島俊樹

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属 : 群馬大学医学部附属病院外科診療センター 呼吸器外科

連絡先 : 〒371-8511

群馬県前橋市昭和町 3-39-15

Tel : 027-220-8224

担当 : 矢澤友弘

上記の窓口では、問合せ・苦情等の他、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 ※他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
 - ①試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
 - ②利用し、または提供する試料・情報の項目
 - ③利用する者の範囲
 - ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
 - ⑤研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法